

# 観光・産業連携拠点づくり事業

## 基本計画

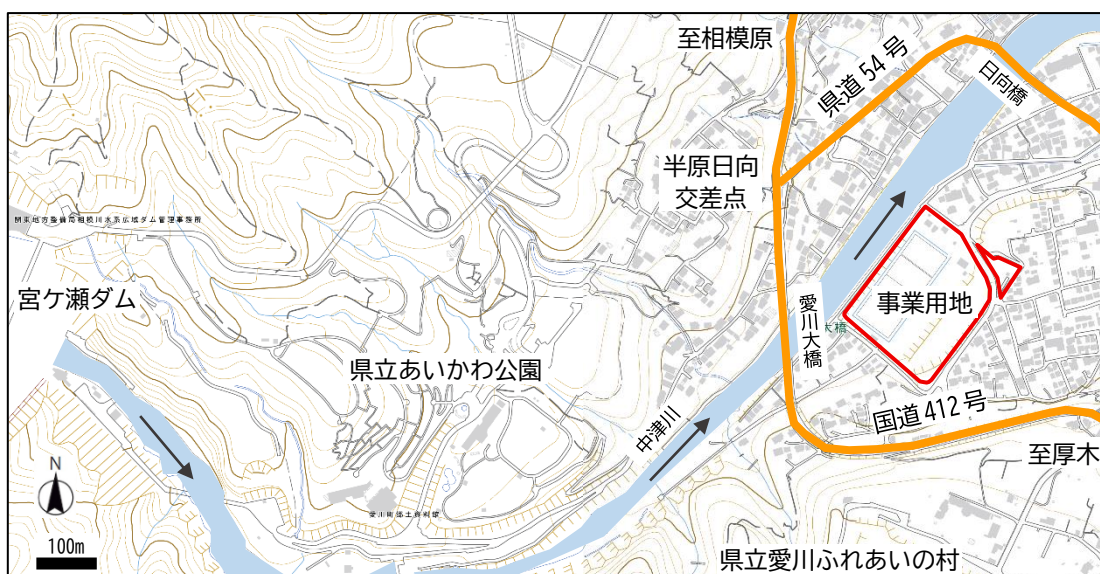
### 愛川町

## 目 次

1. 事業用地の概要 .....	1
2. 事業の目的 .....	2
3. 民間事業者との連携 .....	2
4. 整備方針 .....	3
5. 導入機能のゾーニング .....	4
6. ゾーンごとの導入機能と効果 .....	5
7. 整備イメージ .....	6
8. 主要施設の概要 .....	7
9. 概算事業費 .....	8
10. 令和8年度以降の事業スケジュール .....	8

## 1. 事業用地の概要

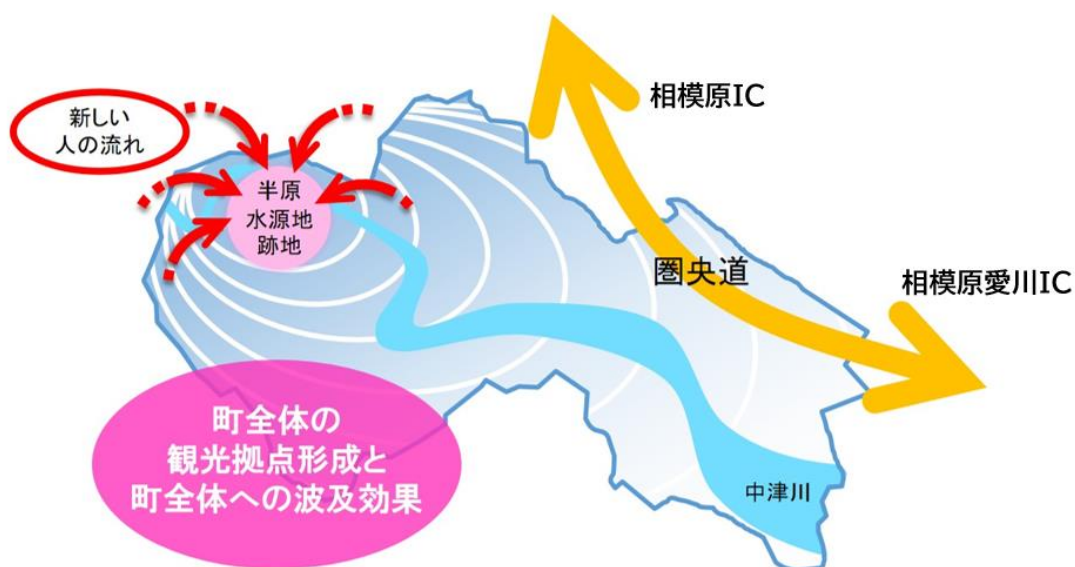
項目	内容
旧名称	横須賀水道半原水源地
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町半原 4756-2 他
敷地面積	35,301 m <sup>2</sup>
用途地域	準工業地域 特別工業地区（愛川町都市計画特別工業地区建築条例による）



出典：国土地理院地図を編集して作成

## 2. 事業の目的

町内の既存ストックやストック効果を活用し、横須賀水道半原水源地跡地を起点とした、町全体の観光拠点形成を主眼に置き、新たなひとの流れ、さらには、新たな産業を創出することを目的とする。



## 3. 民間事業者との連携

地域活性化を図るため、民間事業者のブランド力を活用しながら、連携拠点がより魅力的な施設になるよう、令和7年4月11日に神奈川トヨタ自動車株式会社と「観光・産業連携拠点整備に関する基本協定」を締結した。今後は、同社と連携して整備事業を推進していく。

以下に基本協定の目的と連携して取り組む事項を記載する。

本協定の目的	地域活性化を図るため、神奈川トヨタ自動車株式会社のブランド力を活かしながら、連携拠点がより魅力的な施設となるよう、愛川町及び神奈川トヨタ自動車株式会社が緊密に相互連携・協力して取り組む。
連携事項	(1)連携拠点の整備に関すること。 (2)町の賑わいの創出や関係人口の増加に関すること。 (3)非常時における連携拠点の活用に関すること。 (4)その他連携拠点の利活用に関すること。

## 4. 整備方針

### 目標とする活用イメージ

半原水源地跡地が新たな可能性を創出する  
半原水源地跡地の利活用がまちに新たな価値と活力を生み出す！

### 求められるもの

#### まちのライフスタイルを変える空間

- ・ 散歩等の目的地となる（散歩や自転車で来なくなる）
- ・ 団らん・交流の場となる（家族でピクニック、友人と BBQ など）
- ・ 健康意識の醸成（竹林散策路、健康遊具広場など）

#### まちの活力創出に寄与する空間

- ・ 周遊客が立ち寄る（食事所で食事、物産販売所で買物）
- ・ オートキャンプなどで手軽に自然を満喫する
- ・ 広場でイベントを楽しむ
- ・ 大型複合遊具でダイナミックな遊びを楽しむ

#### まちのカルチャーを継承する空間

- ・ 水源地跡地の遺構の展示
- ・ 中津川の景観
- ・ 町の歴史・文化を来訪者に紹介

#### まちの安全・安心を支える空間

- ・ 施設を避難所として活用
- ・ 災害時におけるトイレやシャワーの提供
- ・ 駐車場と広場を災害復旧時などに活用

新

#### まちに根付き、地域に愛される空間

- ・ 地域住民と関係人口の交流の場の創出
- ・ 地産地消による SDGs への寄与
- ・ 生活利便性向上による快適な住環境の創出

### 期待する効果

- ①：まちの居心地の良い場所
- ②：まちの賑わい創出や価値の向上
- ③：まちの製品の新たな活用
- ④：まちの豊かな自然や景観の再発見
- 新 ⑤：まちの交流の場の創出と生活利便性の向上

## 5. 導入機能のゾーニング



## 6. ゾーンごとの導入機能と効果

ゾーンごとの導入機能の目的及び、期待する効果を整理する。

ゾーン	導入機能の目的	期待する効果（P3）				
		居心地の良い場所	賑わい創出や価値の向上	製品の新たな活用	豊かな自然や景観の再発見	交流の場の創出と生活利便性の向上
エントランスイベントゾーン	【交流、防災】 公園の顔となる開放的な空間として、イベントなどを通じた交流の場を創出する。		○			○
複合施設ゾーン	【賑わい、交流、子育て、飲食、物販】 物産販売所やフードコート、遊び場を含む観光拠点として、賑わいや交流の空間を創出する。		○	○		○
プレイパークゾーン	【賑わい、交流】 キッズ広場や親水空間、乗り物広場を通して子どもの遊び場を提供する。		○			○
アウトドアゾーン	【交流、憩い、癒し】 オートキャンプなどでの交流を通して、町の賑わい創出や関係人口の増加を図る。		○	○		○
ドッグランゾーン	【交流、癒し】 飼い主同士の交流の場として新たなコミュニティを形成する。		○			○
健康づくりゾーン	【健康、交流】 健康づくりを通じた、交流の空間を創出する。	○				○
竹林散策ゾーン	【環境保全、癒し】 既存の竹林を活かし、自然との触れ合いの場を創出する。	○			○	
四季の斜面ゾーン	【環境保全、癒し】 斜面地を活用した植栽の景観を楽しむ。	○			○	
見晴らしゾーン	【環境保全、癒し】 高さのある眺望を活かし、斜面地の植栽や中津川までの景色を楽しむ。	○			○	
駐車ゾーン	【便益、防災】 駐車スペースや災害時の物資提供場所、雨水の貯留を目的とする。					○

# 7. 整備イメージ

テントサイト



コテージサイト



アウトドア施設管理棟



フードコート



物産販売所



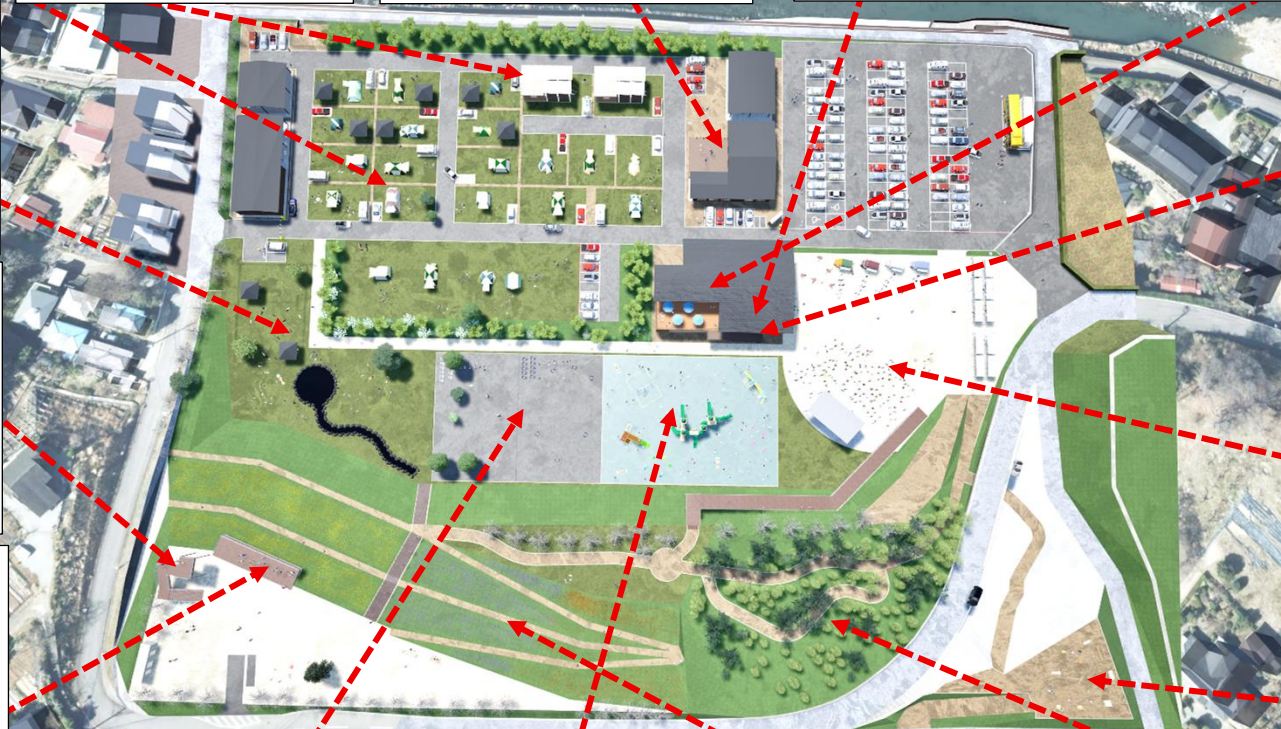
ドッグラン



展望台



張り出し型展望テラス



屋内遊具室



エントランス広場+ステージ



健康遊具広場



乗り物広場



キッズ広場



四季の斜面



竹林散策路



## 8. 主要施設の概要

導入する主要施設の概要を整理する。

ゾーン	施設名	整備概要	
エントランスイベントゾーン	エントランス広場、ステージ	様々なイベントに活用できる約2,500㎡のエントランス広場とステージを設置	
複合施設ゾーン	複合施設	公園管理事務所	公園部分の管理運営機能
		多目的室	会議やイベント等への活用が可能な多目的空間
		屋内遊具室	全天候型の屋内遊具スペース
		物産販売所	地域の食材や加工品、工芸品等を販売
		フードコート・テラス	飲食物の販売及び休憩スペース
プレイパークゾーン	キッズ広場	児童を対象とした大型複合遊具等を設置	
	乗り物広場	セグウェイ、電動カートなどを体験	
	芝生広場	親水空間、サークルベンチ、四阿を設置	
アウトドアゾーン	オートキャンプ場等のアウトドア施設	整備面積：約9,800㎡(全体面積の約28%) (設置管理許可制度を活用予定) テントサイト(区画サイト、ドッグサイト、フリーサイト)、コテージサイト、炊事場、管理棟等を設置	
ドッグランゾーン	ドッグラン	小型犬ゾーンと中型・大型犬ゾーンを設置	
健康づくりゾーン	健康遊具広場	健康増進を目的とした健康遊具を複数設置	
竹林散策ゾーン	竹林散策路	回遊性のある散策路やベンチを設置	
四季の斜面ゾーン	四季の斜面	季節に応じた植栽・散策路を整備	
見晴らしゾーン	見晴らし広場	癒しの空間として、展望台や張り出し型展望テラス、デザイン性のあるオブジェなどを設置	
駐車ゾーン	駐車場・駐輪場	105台(車いす用：4台) このほか、自転車(ロードバイク含む)・バイク専用の駐輪場と大型バス(2台)を整備	

## 9. 概算事業費

令和元年度時点から見直しを行った概算事業費は以下のとおり。

なお、当該財源内訳の算出については、現行の国庫補助制度や地方債制度などをもとに算出したものであり、今後変動する可能性がある。

	前回計画(R01年度)	今回計画(R07年度)	差額
合計	17.0億円	22.0億円	5.0億円
敷地造成(既済)	2.5億円	3.2億円	0.7億円
土木・造園・建築等	14.5億円	18.8億円	4.3億円

### 【敷地造成財源内訳(実績)】

県支出金	0.8億円
地方債	1.7億円
諸収入(※)	0.7億円
合計	3.2億円

※なお、諸収入として、建設発生土受入協力金が1.5億円あったので、残りの0.8億円は令和8年度以降の土木・造園・建築等に繰り越すもの。

### 【令和8年度以降の土木・造園・建築等財源内訳】

国支出金	9.4億円
県支出金	0.7億円
地方債	6.5億円
諸収入 (過年度建設発生土受入協力金)	0.8億円
一般財源	1.4億円
合計	18.8億円

## 10. 令和8年度以降の事業スケジュール

令和8年度以降の全体事業スケジュールを以下に記載する。

	令和8年度				令和9年度				令和10年度			
設計 (建築) (土木)	基本設計		実施設計 確認申請等									
工事 (建築) (土木)					工事期間							
供用 開始												供用開始 (想定)